

未来キッチンを考えるヒント

未来のための5つのキーワード

地球にとっても、わたしたちにとっても、あかるくたのしい未来にするために、みんなのおうちにもあるキッチンに、どんな工夫をしたらいいのかな？このワークシートで5つのキーワードを学び、自分の考えをまとめてみよう。

「SDGs」のためにみんなは何ができるかな？

最初の「S」は、サステナブル。英語で「持続可能な」つまり「ずっと続けていくことができる」という意味なんだ。「この地球に住んでいる全員が楽しく幸せに、暮らし続けていける」ように、こんなことをしていこう！と決めた目標が「SDGs」。食べものが足りなくて困っている人がいたり、きれいな水を飲めない人がいたり、洪水などの被害にあったり、世界中にはいろいろな人がいるね。未来のためにキッチンで何ができるか、5つのキーワードから考えよう。

① 水の節約



30年後、8人中5人は水が飲めなくなる!?

みんなが大人になる30年後、世界の人口は80億人、そのうち50億人分の水が足りなくなるといわれているよ。日本では今、世界平均の2倍の水の量、毎日一人あたり2リットルのペットボトル約150本分も使っているんだ。**水を節約**するため、たとえば、クリナップではキッチンのシンクにレールを作って、洗いのものをしながらそうじできるような水の流れを工夫したシンクを作っているよ。

参考資料：環境省「世界の水、日本の水」、厚生労働省「いま知りたい水道」

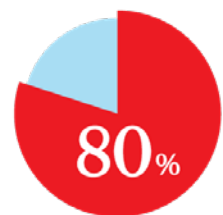


② リサイクル



繰り返し使い続けることができる素材「ステンレス」

スプーンなどの食器やキッチンに多く使われている「ステンレス」。食べものにおいや色がうつらず、汚れにくいからさっと洗えて、サビにも強いから長く使えるんだ。それに、使い終わっても日本では80%以上、資源に戻して新しい商品として**リサイクル**しているよ。



参考資料：Cleanup Sustainability Report 2022

未来キッチンを考えるヒント

未来のための5つのキーワード

③ 食品ロス



食べられるのにゴミになっていく食べものたち

キッチンはごはんを作る場所だけど、ゴミが出る場所でもあるよね。まだ食べられるのに、食べものを捨ててしまうことを「食品ロス」っていうんだ。日本では毎日一人あたり「お茶わん約1杯分」のごはんを捨てているんだよ。ゴミが出ると、処理をする作業代や電気代がかかり、ゴミを燃やすときにCO₂も出るため、お金や地球へのやさしさを考えても、なにもいいことがないんだ。

参考資料：農林水産省「日本の食品ロスの状況(令和3年度)」



④ 自動化



みんなにやさしい便利な機能が進化中

手をかざすだけで水が出たり、止まったりする水道があるよね。ほかに、お皿を自動で洗ってくれる「食洗機」があったり。このように自動でできることが増えていくことにより、忙しいお父さんお母さん、体の不自由な人、おとしよりの人など、みんなに「便利でやさしいキッチン」へと進化しつづけているんだ。



⑤ いつでもどこでも



いつでもどこでも温かいごはんが食べられる

屋内だけでなく、どこにでも「移動できるキッチン」があれば、災害が起きた場所に行って、温かいごはんをつくることができるよね。

キャンプやお祭りなどでも、おうちと同じようにお料理を楽しめる! クリナップでは、いつでもどこでも楽しめる自由なキッチンを大学の先生たちと一緒に研究しているんだ。



参考資料：クリナップ「未来キッチンプロジェクト」

おなまえ _____

かんがえをまとめてみよう!



★★★ キッチンをどこにつくる? ★★★

★★★ どんなかたちをしてる? ★★★

★★★ キッチンではなにができる? ★★★

→) ^{りょう り}料理でできること…

→) ^{りょう り い がい}料理以外のこと…

★★★ どんな^{みらい}未来にしたい? ★★★



かんがえがまとまったら、^え絵をかいてみよう!

